

❖ 市誌編さんだより Vol.15 ❖

専門家の調査だけでなく、市民の調査協力員や大学生・中高生と聞き書き調査・執筆を行っています。奇数月の1日号にて編さん状況などを紹介しています。

たかはま 歴史・まちづくりシンポジウム 2

『近代における高浜の“やきもの”―瓦・土管・日用土器―』を開催します!!

高浜市は日本の三大瓦の一つ「三州瓦」の主要産地で、江戸時代以来、江戸(東京)を一大消費地として現代まで発展してきました。明治のはじめごろには常滑から土管づくりの技術が伝わったこともあり、その後の近代の高浜では、瓦・土管・日用土器など多種多様なやきものがつくられました。土管づくりの技術は瓦生産にもいかされるなど、「やきものまち・高浜」の発展につながっています。

今回のシンポジウムでは、高浜市において「三州瓦主要産地の礎となった近代(明治～アジア・太平洋戦争中)の様相」を、同じやきものまちである常滑市との関係をふまえて明らかにしていきます。皆さんぜひ参加してください!

とき **2月8日(土)** 午後1時30分～4時30分

ところ かわら美術館1階 ホール

※入場無料・参加申込不要



スケジュール

13:30	開会
13:40～14:30	基調講演「土管をまとう街」 講師：小栗 康寛 氏(とこなめ陶の森 資料館 学芸員)
14:30～14:40	休憩
14:40～15:10	研究発表「近代の高浜・新川地区の日用土器生産」 発表者：豆田 誠路 氏(高浜市誌近世・近代・現代部会 調査執筆員)
15:10～15:20	休憩
15:20～16:20	パネルディスカッション コーディネーター：曲田 浩和 氏(高浜市誌編集委員会 委員長)
16:30	閉会

写真①：「観音寺の下(船積みを待つ土管)」20世紀(高浜市立郷土資料館蔵) 写真②：絵はがき「工業地帯全景」大正期～昭和初期(高浜市立郷土資料館蔵)

- ◇自宅や地域に、高浜に関する書物、写真、チラシなど(特に明治時代～昭和)がありましたら、ぜひ情報をお寄せください。
- ◇「市誌編さんに興味があるので参加したい!」という方は連絡してください。資料整理、調査、聞き取りなどを通して、新しい市誌を一緒につくりませんか?
- ◇市誌編さんに関する内容は、市公式ホームページの「文化スポーツグループ」のページでも紹介しています!

問合せ先 [いきいき](#) 文化スポーツグループ ☎52-1111(内線330)